※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２２

令和５年度　芸術科

教科	芸術科	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次（普通科）
使用教科書	東京書籍「書道Ⅰ」（書Ⅰ　７０１）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・毛筆の基本的な特性、技法を理解し、筆・墨・紙の知識と関係を認識する。
・優れた古典の臨書、鑑賞を通して、書への興味・関心を深めるとともに書の表現能力を身に付け高める。
・感性を豊かにし、書の美しさや魅力を感じ取り、自己表現力を養う。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
（２）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
（３）主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な書表現をするために基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技法を身に付ける。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	書への創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に興味を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書写と書道	・国語科書写と芸術科書道 ・用具・用材の扱い方、姿勢・執筆法を学ぶ。	a:書く時の姿勢・用具用材を適切に扱い、技能を高める努力をしている。 b:国語科書写での基礎・基本を踏まえて、表現を工夫している。 c:小・中学校の書写の学習と高等学校の芸術として書道の違いを理解し、古典の臨書・鑑賞を通じて美と技法に時代を超えた普遍性を体感し、関心を持って取り組んでいる。	観察、授業態度	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度
	楷書の学習	楷書 ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・自書告身 ・牛橛造像記	a:各古典の特徴を学び、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:古典の持つ伝統的な美を感受している。臨書の意味や表現方法を理解し、表現を構想し工夫している。 c:各古典の特徴を捉え、用筆法・紙面構成等ポイントを押さえて作品制作をしている。	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度
	創作	・うちわ	a:「必ず筆で文字を書く」というルールを守った上で、自分なりの表現を目指す。 b:季節感やうちわのイメージに合った表現を工夫している。 c:自分の思いが伝わるように作品を仕上げている。	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度
2学期	行書の学習	行書 ・蘭亭序	a:行書の古典の特徴を学び、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:行書の持つ伝統的な美を感受し、表現方法を工夫している。 c:行書の古典の特徴を捉えて用筆法・リズム・紙面構成等ポイントを押さえて作品制作している。	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度

※令和４年度以降入学生用

	行書の学習（半切に全臨）	行書 ・蘭亭序（半切に全臨）	a：半切の紙についての知識を学び、小筆を用いて蘭亭序を全臨することで、日常生活で小筆を使う機会は現代でもあることを意識する。 b：半紙とは大きさの違う半切の紙の扱い方を工夫する。 c：これまでとは違い、一つの作品を数時間かけて数時間かけて完成させることで集中力を養い、作品への思いを深めている。	観察、授業態度	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度
	篆書の学習	篆書 ・泰山刻石	a：篆書の用筆法を理解して取り組めている。 b：篆書の持つ伝統的な美を感受し、表現している。 c：篆書の学習として泰山刻石の美しさを理解し、技法に関心を持ち、表現技法を高めようとしている。	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度
	篆刻	・自分の名前を調べる（篆書体） ・名前印の制作	a：名前の篆書体を調べることを通じて篆書に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b：篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c：印材や印影の美しさを鑑賞し、その良さや美しさを味わっている。	観察、提出作品、授業態度	提出作品、感想文	観察、提出作品、感想文
	創作	・カレンダー	a：「必ず筆で文字を書く」というルールを守った上で、自分なりの表現を目指す。 b：自分の書いた文字や絵に合った表現が出来ている。 c：自分の思いが伝わるように作品を仕上げている。	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度	観察、提出作品、授業態度

※令和４年度以降入学生用

３学期	仮名の学習から漢字仮名交じりの書へ	仮名 ・いろは歌 ・連綿 文章を書く ・ひらがなと漢字による表現を学び創作する	a:仮名の成り立ちを学び、仮名の用筆法を理解して取り組めている。 b:仮名の持つ伝統的な美を感受し、表現している。 c:仮名の墨色に関心を持ち、ひらがなの美しさを理解し、表現技法を高めようとしている。	観察、提作品、授業態度	観察、提出作品、ワークシート、授業態度	観察、提出作品、ワークシート、授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度